



私は海から名古屋に、
恵みを運ぶアイノカゼ。
みなとまち名古屋を古
(いにしえ)より見守っ
てきました。

今年は今名古屋港100周年

巻頭コラム

ビーチサン飛ばしの歌

今は夏真っ盛りである。家族で海水浴など海のレジャーに出かける人も多いのではないだろうか。ただ、名古屋の近場では直接海とふれあえる場はそう多くはない。その少ない場所の一つとして、知多市の新舞子にブルーサンビーチというきれいな白い砂浜がある。今年のゴールデンウィークに、ここで「ビーチライフin新舞子」というイベントが開かれた。

浅尾美和人気でビーチバレーのみが大きく報道されていたが、実は他にもビーチサッカー、ビーチフラッグス、ビーチサン飛ばしなど、多くの楽しい(中にはかなりユニークなものもあったが、)催しが行われ、たくさんの子供や大人が楽しんでいた。また、会場では一日中里浜のテーマソングやビーチサン飛ばしの歌が繰り返し流れ、ビーチの楽しい雰囲気を盛り上げていた。

私も手伝いの端くれとして一日ビーチに動員され、仕事をしつつ周りを眺めていた。だいたい中年を過ぎると、そもそもこういう場所は少々恥ずかしく、居場所がないものだと思っていたが、子供たちの楽しそうな様子を見ていると、だんだんその場に馴染んでいくのが不思議でもある。

当日は疲れ切って自宅に帰った。眠ろうとすると日中のビーチの楽しい景色が浮かんでくるのだが、頭の中ではビーチサン飛ばしの歌がぐるぐると回っている。どうも私は、ビーチの楽しい雰囲気よりもビーチサン飛ばしの歌に洗脳されてしまったようだった。



名古屋港湾事務所長 田邊 俊郎

アイノカゼ通信

「アイノカゼ」沖の船を無事に入港させ、海からいろいろな珍しい物をもたらした恵みの風です。アユチガタ(年魚市場)の語源にもなりました。

第4号

2007.8.

国土交通省 中部地方整備局

名古屋港湾事務所

〒455-0045 名古屋市港区築地町2番地 TEL 052-651-6763